

プランの項目			事業名	事業概要	実施状況 (21年度)	平成21年度 最終予算額 (千円)
大項目	中項目	小項目				
3 多様な学習活動の推進	(1) 人権尊重の社会づくりに向けた学習の推進	①人権意識の高揚	人権啓発事業	府民の人権意識の向上を図るため、各種人権啓発事業を実施する。(府民文化部)	* おおさか人権情報誌そうぞうNo.25,26の発行 * 人権情報ガイドゆまにてなにわシリーズvol.23の発行 * 人権啓発ラッピングバスの運行 等	40,990
			大阪府人権教育推進計画の推進	人権という普遍的文化の確立を図るため、「人権が重視される社会基盤の構築」「人権教育の推進」に向けた各事業を実施する。(府民文化部)	* 人権学習シリーズvol.6の発行 * 第17回大阪府人権教育推進懇話会の開催	2,937
			大阪国際平和センター(ピースおおさか)の運営(再掲)	府民の平和意識の醸成を図るため、戦争や平和に関する資料の収集・保存・展示や講演会等の開催を行うピースおおさか(財団法人大阪国際平和センター)に対し補助を行う。(府民文化部)	* 入館者数:64,784人	36,521
			ドーンセンター事業	大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)において実施される各種の啓発学習等の事業について、財団法人大阪府男女共同参画推進財団へ委託する。(府民文化部)	* 主催事業参加者総数:4,890人	933
			女性に対する暴力対策事業	女性に対する暴力対策として、関係機関の連携を強化するとともに、『女性に対する暴力をなくす』運動期間に合わせた啓発の実施、DV被害者を支える人材の養成等を図る。(府民文化部)	* 人材養成支援講座参加者:182人	2,370
			隣保館の活用	広く人権に関する理解を深めるため、日常生活に根ざした啓発・広報活動を行うとともに、地域住民を対象とした各種クラブ活動、レクリエーション、教養・文化活動等地域住民の交流を図る事業等を実施する。(福祉部)	同左	235,065千円の一部 (政令市・中核市を除く)
			学校における人権教育の充実	人権尊重の国際的趨勢を踏まえ、人権に関する問題の正しい理解と人権感覚・意識の育成に努める。(教育委員会)	同左	0
			(財)大阪人権博物館(リパティおおさか)事業助成事業(再掲)	同和問題、女性、民族、障がい者、環境問題など人権に関する歴史資料を収集保存・公開し、人権思想の普及と人間性豊かな文化の発展に貢献する同博物館の運営費等に対して助成する。(教育委員会)	* 入館者数:50,362人	93,725
			地域青少年社会教育総合事業	青少年の学習活動と保護者の子育て等を支援し、地域における青少年の健全育成と人権教育の推進を図ることにより、地域の教育課題と人権問題の解決に資するため、市町村等に対する補助等を行う。(教育委員会)	* 補助市町村等数:20市町 32施設	122,016
			②学習者のエンパワメントの支援	ドーンセンター事業(再掲)	大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)において実施される各種の啓発学習等の事業について、財団法人大阪府男女共同参画推進財団へ委託する。(府民文化部)	* 主催事業参加者総数:4,890人
	女性に対する暴力対策事業(再掲)	女性に対する暴力対策として、関係機関の連携を強化するとともに、『女性に対する暴力をなくす』運動期間に合わせた啓発の実施、DV被害者を支える人材の養成等を図る。(府民文化部)		* 人材養成支援講座参加者:182人	2,370	
	点訳・朗読、要約筆記奉仕員、手話通訳者養成講座の実施	障がい者の福祉に理解と熱意があり、基本的な技術を習得し、ボランティア活動を行おうとする人に対し、より高度な技術を習得してもらうため、講習を行う。(福祉部)		* 点訳奉仕員養成講座受講者数:8人 * 朗読奉仕員養成講座受講者数:22人 * 手話通訳者養成講座受講者数:215人 * 要約筆記奉仕員養成講座受講者数:36人 * パソコンボランティア養成講座受講者数:52人	点訳奉仕員養成 1,446 朗読奉仕員養成 1,264 手話通訳者養成 17,094 要約筆記奉仕員養成 1,909	
	地域子育て支援拠点事業の推進	常設のつどいの場や保育所の園庭又は専用スペースにおいて、子育て親子の交流の促進や子育て等に関する相談等を実施する市町村に対し助成する。(福祉部)		* 38市町 167箇所 (政令市・中核市を除く)	615,944	
	食とみどり技術センター試験研究	農産園芸福祉ボランティアグループ活動の支援と指導を行う。(環境農林水産部)		* 農産園芸福祉ボランティアグループ活動を支援し、技術的指導を実施(年間活動実績53日、参加者数延べ518名)	—	
	新ハートフル事業	各公園の出入口から公園の見所を結ぶ1ルートを設定し、障がい者や高齢者などにも楽に散策ができるよう、出入口の改修、段差の解消、スロープの設置等公園施設の整備・改修を行う。また、バリアフリー新法の施行により、法に規定された基準を満たすよう、新たな対応方針を検討する。(都市整備部)		同左	—	
	安全で人にやさしい府道緑化事業	車椅子の通行に配慮した植樹樹の改良など、福祉の視点から街路樹の再整備を実施する。(都市整備部)		同左	15,524	
	識字・日本語学習推進事業	府内の識字・日本語教室の実態を把握するため、アンケートによる基礎調査と聞き取りによる訪問調査を実施する。また、国際化、多様化する識字・日本語学習者に対応するため、識字・日本語教材を作成する。(教育委員会)		* 基礎調査:196教室 訪問調査:118教室 * 「もっとしゃべろ～自分でつくる学習ノート」 各市町村教育委員会、各教室へ配布	12,162 1,343	
	福祉のまちづくりの推進	ノーマライゼーションの理念に基づき、府立学校において、エレベーター、階段手すり、スロープ、車いす使用者用便所の設置・改修等福祉整備に努める。(教育委員会)		* 整備校数:10校	167,866	

プランの項目			事業名	事業概要	実施状況 (21年度)	平成21年度 最終予算額 (千円)
大項目	中項目	小項目				
			障がい者成人学校等の充実	社会の急激な変化に対応する成人教育の重要性に鑑み、障がいのある府民を対象に、各団体の実施する学習機会提供の事業が円滑に実施されるよう支援を行う。(教育委員会)	* 事業助成団体の助成事業に係る情報提供	-
			交通安全施設等整備事業	高齢者・身体障がい者等の交通事故防止対策を図るため、視覚障がい者用付加装置、高齢者等感応化等の整備を推進する。(府警本部)	視覚障がい者用付加装置を100基、高齢者等感応信号機8基を整備	154,104
(2) 子どもが健やかに育つ社会づくりに向けた学習の推進	①子育て環境整備の推進	地域子育て支援拠点事業の推進(再掲)	常設のつどいの場や保育所の園庭又は専用スペースにおいて、子育て親子の交流の促進や子育て等に関する相談等を実施する市町村に対し助成する。(福祉部)	* 38市町 167箇所 (政令市・中核市を除く)	615,944	
		親学習の推進	対話や交流を通して子育ての大切さ等を学ぶ親学習を推進するため、学校の授業等を活用した普及・啓発に努める。(教育委員会)	* 社会教育施設等での親学習の講座数119(21市町) * 親学習実施学校数 小33校、中29校、高31校	-	
	②青少年の健全育成	こども会育成事業	こども会活動の振興を図るため、優良こども会の表彰などを行う。(政策企画部)	表彰団体数: 33団体	284	
		青少年活動促進事業の実施	青少年育成研究大会(青少年指導者等が一堂に会し、その資質の向上や相互の情報交換を行う。)を実施する。(政策企画部)	* 参加者数: 320名	-	
		子ども府政学習会	大阪府政に対する子どもの興味・関心を高め、理解を深めるため、府議会の役割、府の仕事などを学習する「子どもの府政学習会」を実施。(府民文化部)	* 子ども府政学習会参加者: 613人	837	
		府立大型児童館ビッグバンの運営(再掲)	子どもの豊かな遊びと文化創造の中核施設である府立大型児童館を運営し、子どもの健やかな成長を支援する。<平成18年度から指定管理者制度導入>(福祉部)	* 入場者数: 約22万7千人	54,855	
		児童館、児童センターの整備	児童が健全な遊びを通じて、その健康を増進し、情操を豊かにするため、児童館・児童センターの整備を行う市町村に対して助成する。(福祉部)	* 児童館整備箇所数: 1箇所	30,912	
		地域への愛着学習プラン	出前講座、体験学習、見学会、発表会などを通じ、まちに対する愛着・愛情を育成する。(都市整備部)	* 講座等開催: 年間約100回 * 講座参加者総数: 約1万5千人	-	
		みんなで創ろう都市のみどり～中環の森づくり～	みどりが乏しいとされる大阪の市街地で、子ども達とともにみどりづくりを行うことで、“子ども達の環境学習”を推進するとともに、“緑化のシンボル空間”を創造するため、市街地を貫く中央環状線において、沿道の子ども達といっしょに苗木から育てる『中環の森づくり』を行う。新規整備は一時休止とするが、既整備区域における府民協働は今後も継続(都市整備部)	* 事業箇所: 花博記念公園口から神武町	-	
		府立高等学校芸能文化科の設置・運営	府立高等学校の芸能文化科(府立東住吉高等学校)を運営し、能、狂言、歌舞伎、文楽、落語、漫才など大阪の誇りとする伝統芸能を保存・継承するとともに、新しい時代の芸能文化の発展・創造に貢献できる人材の育成を図る。(教育委員会)	* 芸能文化科設置校: 府立東住吉高校	-	
		府立高等学校音楽科の設置・運営	府立高等学校の音楽科(府立夕陽丘高等学校)を運営し、音楽を通して、人間形成を図り、専門家として活躍する人や生涯にわたって芸術等に親しみ愛好する人材、広く芸術文化の発展に寄与する態度を育成する。(教育委員会)	* 音楽科設置校: 府立夕陽丘高校	-	
		府立高等学校体育科の設置・運営	府立高等学校の体育科(府立大塚高等学校)を運営し、スポーツ指導者となる資質を養うとともに、専門的に体育・スポーツについて学び、生涯スポーツに後見できる人材の育成を図る。(教育委員会)	* 体育科設置校: 府立大塚高校	-	
		府立高校特色づくりの推進	中学卒業者のほとんどが高等学校に進学する中で、府立の高等学校が、多様な学習ニーズに応え、地域に根ざして次代の大阪を担う人材を育成するという使命を踏まえ、今後の府立高等学校の特色づくりを進める。(教育委員会)	同左	99,107	
		国際教養科の設置・運営	府立高等学校の国際教養科(9校)を運営し、国際社会、情報社会において活躍・貢献することができる人材を育成することを目的とし、コミュニケーション能力、情報活用能力及び幅広い国際理解に関する教養を育成する。(教育委員会)	* 国際教養科設置校: 府立箕面、旭、枚方、花園、長野、佐野高校 * 国際・科学高校 国際文化科: 府立千里、住吉、泉北高校	-	
		住宅まちづくり教育の推進	小・中学校を対象とした出前講座等により、子どもたちに「住まい」について考える機会を持たせ、次世代の豊かな住まいづくりを担う子どもたちを通じて、家庭や地域全体として「住まい」について考え、生活意識を高めていく。(住宅まちづくり部)	* 大学や業界団体と連携し、出前講座等を実施 (5校で計10日間実施、受講者数: 470人)	-	
「あすなる夢建築」大阪府公共建築設計コンクール	永く府民に愛され、親しまれる公共建築づくりを推進するとともに、将来の建築技術者となる青少年の育成を目的として、大阪府内の高校生・専修学校生等から夢のあるユニークなアイデアを公募し、最優秀作品賞に選定された作品の提案趣旨を活かして事業化を行う。(住宅まちづくり部)	* コンクールへの応募者数 214人 * コンクールへの作品総数 195点	59			

プランの項目			事業名	事業概要	実施状況 (21年度)	平成21年度 最終予算額 (千円)
大項目	中項目	小項目				
(3)心の豊かさや生きがいづくりに向けた学習の推進	①多様で身近な学習ニーズへの対応	大阪楽座事業(再掲)	民間団体が主催する府内の歴史的建造物を活用した文化活動を公募し、優れた企画に対して補助金を交付する。(府民文化部)	*事業数:14件	5,268	
		大阪文化再発見事業(再掲)	大阪の文化振興を図るため、大阪文化を再発見する事業を展開する。(府民文化部)	*大阪文化再発見講座 *10回実施 参加者数のべ584人	1,300	
		所蔵美術作品の有効活用(再掲)	現代美術の代表的作家の作品や大阪トリエンナーレの入選作品など大阪府が所蔵する美術作品の展覧会を開催するほか、様々な場所で府民が鑑賞できるように展示する。<18年度から21年度まで指定管理者制度を導入>(府民文化部)	*大阪府所蔵作品展 *開催回数:12回	20,691千円(府立現代美術センターの運営)の一部	
		インターネット美術館推進事業(再掲)	大阪府所蔵美術作品のデータベースを活用して、作品、作家等の情報をインターネットを通じて検索・閲覧できるようにするとともに、ホームページで公開するインターネット美術館を運営する。<18年度から21年度まで管理者制度を導入>(府民文化部)	*作品画像700点	20,691千円(府立現代美術センターの運営)の一部	
		大阪センチュリー交響楽団の運営補助(再掲)	質の高い音楽鑑賞の機会とともに、府民に音楽に接する機会を提供している大阪センチュリー交響楽団の運営に対する補助を行う。(府民文化部)	*演奏実績:117回	110,000	
		音楽文化振興事業(再掲)	府内の青少年を対象に、吹奏楽などの技術的な指導や相談、管楽器や打楽器等の講習会を行う。(府民文化部)	*派遣音楽指導事業:1団体・年間7回 計32団体 *ミュージックキャンプ:年1回 *管・打楽器講習会:年1回	1,507	
		芸術文化振興補助金(再掲)	府民に優れた芸術鑑賞の機会を提供するため、文化芸術団体が自主的に行う有意義な事業のうち、文化を通じた次世代育成に寄与する事業に対して補助金を交付する。(府民文化部)	*交付事業:12事業	10,246	
		府民の府政学習会	大阪府政に対し興味・関心を高め、理解を深めるため、府の仕事など説明する「府民の府政学習会」を実施。(府民文化部)	*府民の府政学習会参加者:332人	0	
		歴史街道推進協議会分担金(歴史街道推進協議会による情報発信)(再掲)	歴史街道推進協議会の活動を通じ、「歴史街道計画」や関西の歴史・文化に関する情報発信機能を強化する。(政策企画部)	同左	500	
		介護情報・研修センターの運営(再掲)	介護の実習等を通じて、府民への介護知識・技術の普及を図るとともに、福祉用具に関する相談や展示室の運営を通して福祉用具の普及を図る。(福祉部)	*介護講座受講者数:2,332人	18,228	
	②高齢者の自立と生きがいづくり・社会参加の推進	シルバー人材センター事業の推進	高齢者の就業機会の確保と社会参加、生きがいの充実を図るため、定年退職後等においてフルタイムの就業は希望しないものの、臨時的かつ短期的な就業又はその他軽易な業務に係る就業を希望する高齢者を支援する。(商工労働部)	*シルバー人材センター数:39団体(33市6町)	7,570	
		福祉人材センター事業の充実	社会福祉事業従事者及び社会福祉事業に従事しようとする者の就業の援助(求人登録、斡旋等)、研修、相談等を行うことにより、福祉人材の確保をするとともに、これらの人材の専門的知識・技術及び意欲を高め、福祉サービスの質の向上を図る。(福祉部)		29,429	
		介護情報・研修センターの運営(再掲)	介護の実習等を通じて、府民への介護知識・技術の普及を図るとともに、福祉用具に関する相談や展示室の運営を通して福祉用具の普及を図る。(福祉部)	*介護講座受講者数:2,332人	18,228	
		新ハートフル事業(再掲)	各公園の出入口から公園の見所を結ぶ1ルートを設定し、障がい者や高齢者などにも楽に散策ができるよう、出入口の改修、段差の解消、スロープの設置等公園施設の整備・改修を行う。また、バリアフリー新法の施行により、法に規定された基準を満たすよう、新たな対応方針を検討する。(都市整備部)	同左	-	
		安全で人にやさしい府道緑化事業(再掲)	車椅子の通行に配慮した植樹樹の改良など、福祉の視点から街路樹の再整備を実施する。(都市整備部)	同左	15,524	
	③障害者の自立と社会参加の推進	フレンドシップ・キャンプ事業の実施	障がいのある青少年と障がいのない青少年が、自然のなかで野外活動(キャンプ)を行い、共同生活を通じて相互理解を深める。(政策企画部)	*参加者数:137人	1,730	
		障がい者交流促進センターの運営(再掲)	昭和56年の「国際障害者年」を契機に障がい者の社会参加の促進と広く人々との交流を図るふれあいの場として整備を進める「障がい者福祉エリア」の中心施設であり、障がい者の各種相談に応ずるとともに、文化活動やスポーツ・レクリエーション活動等のための拠点施設としての必要な便宜を総合的に供与する。<平成18年度から指定管理者制度導入>(福祉部)	*延利用者数 186,600人	200,163	
		大阪府障がい者社会参加促進センターの運営	障がい者が利用しやすいセンターとして運用する。また、社会参加や交流、学習機会の充実とともに各種情報機能の充実を図る。全体整備計画の推進に努める。(福祉部)	同左	3,989	
		障がい者社会参加促進事業の充実	在宅障がい者の社会活動への参加と自立を促進するため、必要な援助を行う。(福祉部)	同左	-	

プランの項目			事業名	事業概要	実施状況 (21年度)	平成21年度 最終予算額 (千円)
大項目	中項目	小項目				
			障がい者福祉作業所に対する助成の充実	障がい者のための地域における自立支援策の一環として、障がい者に対して生活支援と作業指導等を行うことにより、障がい者の自立と社会参加を促進するため、障がい者福祉作業所の運営に対し、市町村を通じ、助成する。(福祉部)	* 助成件数：市町村 24件	231,072
			知的障がい者自立促進センターの運営(再掲)	知的障がい者の多様なニーズに対応するために就労自立をめざす機能、在宅者に対するサービス機能等自立生活を支援する多様な機能を提供する。(福祉部)	同左	79,004
			障がい者の文化・スポーツ活動への助成充実	大阪府障がい者スポーツ大会の開催や全国障害者スポーツ大会への選手団派遣、障がい者団体などが実施する文化・スポーツ活動を支援することにより、障がい者の自立と社会参加の促進を図る。(福祉部)	* 大阪府障がい者スポーツ大会(第9回)参加者数：901人	23,497
			障がい者ワーキングエリアの運営管理(再掲)	昭和56年の国際障害者年を契機に障がい者の自立と生きがいを促進する施策の一環として障がい者の働く場を提供する。(福祉部)	同左	1,106
			盲人福祉センター点字図書館の充実(再掲)	視覚障がい者の文化活動を支援するため、点字図書及び録音図書の貸し出し・閲覧を行う。(福祉部)	* 利用者数：2,530人	36,221
			障がい者IT総合推進事業	障がい者のIT利用総合支援拠点として、大阪府ITステーションを運営する。また、障がい者のデジタルデバインド(情報格差)解消に向け、パソコン講習会の開催・ITサポーターの養成及び活動支援等、総合的な取組みを行う。(福祉部)	講習会開催回数：290回 受講者数：3,148名	127,851
			食とみどり技術センター試験研究(再掲)	農産園芸福祉ボランティアグループ活動の支援と指導を行う。(環境農林水産部)	* 農産園芸福祉ボランティアグループ活動を支援し、技術的指導を実施(年間活動実績53日、参加者数延べ518名)	—
			新ハートフル事業(再掲)	各公園の出入口から公園の見所を結ぶ1ルートを設定し、障がい者や高齢者などにも楽に散策ができるよう、出入口の改修、段差の解消、スロープの設置等公園施設の整備・改修を行う。また、バリアフリー新法の施行により、法に規定された基準を満たすよう、新たな対応方針を検討する。(都市整備部)	同左	—
			安全で人にやさしい府道緑化事業(再掲)	車椅子の通行に配慮した植樹樹の改良など、福祉の視点から街路樹の再整備を実施する。(都市整備部)	同左	15,524
			交通安全施設等整備事業(再掲)	高齢者・身体障がい者等の交通事故防止対策を図るため、視覚障がい者用付加装置、高齢者等感応化等の整備を推進する。(府警本部)	視覚障がい者用付加装置を100基、高齢者等感応信号機8基を整備	154,104
④健康づくり、スポーツの推進			健康おおさか21推進事業	大阪府健康増進計画の目標達成に向けた取組を展開するため、健康づくりの気運の醸成を図るために設置した府民会議に対する支援を行うとともに、メタボリックシンドロームの概念を取り入れた啓発を進める。(健康医療部)	* 健康・体力づくりウォーキング参加者数：211人 * 女性のための健康フォーラム参加者数：538人	5,047
			健康科学センターの管理運営(再掲)	科学的根拠に基づいた健康づくりの技法の開発や健康に関する情報発信、健康づくりを推進する指導者の育成などを行い、府民の健康づくりを総合的に支援する。<平成18年度から指定管理者制度導入>(健康医療部)	* 健康度測定等利用者数：20,297人	333,207
			食育推進プロジェクト	子供の頃から規則正しく朝食をとり、野菜や果物を多く摂取する等の健康的な生活習慣を身に付けるために、学校、保育所等と家庭、地域、外食や流通産業、産地とが連携した食環境整備も含めた総合的な食育を推進する。(健康医療部)	* 実施校数：532校	3,700
			スポーツボランティア等の育成・派遣(再掲)	生涯スポーツ社会づくりを目指し、スポーツボランティアの資質向上を図るため、府に登録しているボランティア等を対象に研修会を開催し、スポーツイベントへの派遣などを実施した。(府民文化部)	* ボランティア派遣実績：515人 * 研修会参加者数：73人	587
			スポーツ情報提供事業(再掲)	スポーツに関する様々な情報(施設情報、教室情報、イベント情報、メールマガジン等)をインターネットを通じて提供する「なみはやスポーツネット」をリニューアルし、運営した。(府民文化部)	* アクセス数：50,542件	2,024
			スポーツ功労者表彰の充実	スポーツ振興・指導に特に顕著な功績のあった者(団体)及び競技成績優秀者(団体)を表彰し、もって大阪府の体育・スポーツの振興に寄与する。(教育委員会)	* 表彰者数：351人 92団体	771
			スポーツ情報提供の充実	スポーツに関する情報提供、情報発信、啓発、相談等の機能充実を図る。(教育委員会)	同左	—
			(4)安全・安心の社会づくりに	①大地震や感染症の発生などの教訓を活かした学習の推進		防災意識啓発事業
建築・宅地防災対策	火災・地震・宅地造成・土砂採取等に伴う災害の発生を未然に防止するため、広く府民の方々や建築物の所有者・管理者などに対し研修会等を行うことにより、防災対策の推進に寄与する。(住宅まちづくり部)	* 研修会参加者数：290人				1,960

プランの項目			事業名	事業概要	実施状況 (21年度)	平成21年度 最終予算額 (千円)
大項目	中項目	小項目				
向けた学習の推進			救命都市おおさか戦略事業	大阪府では、府民に対しAED（自動体外式除細動器）の使用を前提とした心肺蘇生法（BLS）に関する知識・技術、その指導方法の習得に向けた講習会事業を特定非営利活動法人大阪ライフサポート協会に委託し実施している。【参考】 大阪は、全国に先駆けて救命医療に取り組んできた実績を有する。それでも年間約5,000例の院外心肺停止患者のうち、社会復帰できるのは約30例にすぎない。それらの死の中には、体制整備やそれを取り巻く人間の研修により救命できる可能性のある命がある。そこで、「現場、救急車内、病院」にまたがる救命の鎖「Chain of survival」を強固なものとする為、AEDの普及・啓発や蘇生法講習会を開催している。（健康医療部）	1. 講習会開催数：88回 2. 受講人数：3,054人	6,818
		②複雑・多様化する消費者問題にかかる学習の推進	消費者啓発事業（大阪府消費者フェア開催等）	複雑・多様化する消費者問題に対応し、消費者の自立支援に資するため、講座やイベント等を開催する。（府民文化部）	*大阪府消費者フェア2009(5月・参加者数:3,406名)	34,777
			金融広報活動	金融分野における規制緩和の進展や高齢社会の到来など社会経済環境が変化する中で、府民の暮らし、貯蓄、生活設計の立て方に役立つ、金融経済に関する情報提供を行う。（府民文化部）	*啓発物品:59,000個	1,223
		③食の安全・安心のための学習の推進	食育推進プロジェクト（再掲）	子供の頃から規則正しく朝食をとり、野菜や果物を多く摂取する等の健康的な生活習慣を身に付けるために、学校、保育所等と家庭、地域、外食や流通産業、産地とが連携した食環境整備も含めた総合的な食育を推進する。（健康医療部）	*実施校数：532校	3,700
			食育推進事業（再掲）	子どものときから「食」について考える習慣を身につける「食育」を推進するため、食に関する知識等を有する食育推進ボランティアを登録・育成し、学校・地域における食育活動を推進する。※食育活動情報の提供（環境農林水産部）	*食育推進ボランティア登録者数：675名	578
			大阪府中央卸売市場食育推進事業	大阪の「食」の供給を支える生産・流通分野から食育を推進するため、大阪府中央卸売市場食育推進協議会を設置し、小中学生とその保護者を対象に、大阪府中央卸売市場の施設見学や体験等を行う「食育塾」を開催する。また、「市場開放デー」において食育コーナーを設置する。（環境農林水産部）	*大阪府中央卸売市場食育塾実施 ・実施日：8月5日 ・参加者数：78名 *食育コーナー設置 ・実施日：11月15日	—
		④安全なまちづくりや交通事故防止につながる学習の推進	安全なまちづくりに関する情報の提供	安全なまちづくりに関する周知・啓発を図るため、ホームページ等により情報の提供を行う。（政策企画部）	*街頭キャンペーンの実施 *横断幕・懸垂幕の掲出 *府政だより：年1回掲載 *ホームページによる情報提供	357
			地域安全マップ利用サービスの運用	通学路における防犯・交通要注意箇所等の情報をインターネット上で閲覧できる電子地図システムを運用し、市町村や学校における地域の安全情報の共有化を進める。（政策企画部）	*活用小学校区：1,013校区 *登録者数：約24万人	2,974
			地域への愛着学習プラン（再掲）	出前講座、体験学習、見学会、発表会などを通じ、まちに対する愛着・愛情を育成する。（都市整備部）	*講座等開催：年間約100回 *講座参加者総数：約1万5千人	—
			ノーマイカーデー運動の推進	車社会の進行に伴い深刻化している交通渋滞等の問題を解消するため、毎月20日を「ノーマイカーデー」とし、自主規制によりマイカー利用を抑制し、マイカー通勤から公共交通機関への転換を促すことにより、交通流の円滑化を図る。（平成2年4月から実施） また、マイカー通勤の自粛、業務用車両の持ち帰りの自粛等、企業・事業主の自主的な取組みの促進及び全府民に対する広報啓発活動等を実施する。（都市整備部）	同左	—
			子どもを犯罪から守るモデル地区事業	府下62警察署において小学校1地区以上をモデル地区として指定し、警察、自治体、学校、ボランティア及びPTA等とにより、子どもを犯罪から守るための各種活動を推進する。（府警本部）	*警察、自治体、学校、ボランティア及びPTA等による関係者連絡会を設置 ・合同パトロールを実施 ・通学路、児童公園等における防犯環境を整備	413
			まちぐるみ子ども安全対策事業	警察OBを子どもの安全見まもり隊サポーターとして雇用し、府下の各小学校区で行われている地域住民による子どもの安全見まもり隊活動を支援し、活動を継続・活性化させるとともに、見まもり隊活動に参加できない地域住民や学習塾等の事業者に対して、出来る範囲で子どもの安全を見守るよう働き掛けを行い、まちぐるみで子どもを見守る活動を促進する。（府警本部）	○子どもの安全見まもり隊活動を行う地域住民に対する指導を実施 ○子ども、教職員等に対する防犯教室、防犯訓練を実施 ○小学校における防犯設備等の点検を実施  ※平成21年度中の総活動回数 2,517回（前年度比 +163回 6.）	42,398
			府民に対する地域安全情報の提供	大阪府警察情報提供ネットワークシステム（携帯メール配信システム（あまちメール）及び地域安全情報提供システム）を効果的に活用して、身近でタイムリーな犯罪発生情報等を積極的に提供することにより、府民の自主防犯行動・活動の促進を図る。（府警本部）	○平成18年1月から大阪府警察情報提供ネットワークシステムの運用を開始、府下64警察署のホームページにおいて、地域安全情報を提供 ○携帯メールを活用した携帯メール配信システム【あまちメール】の登録者は平成22年8月末現在、約20万4千人	92,205
		地域安全安心ステーションモデル地区事業	地域住民による自主防犯活動の支援及び活性化を図るため、平成17年度から実施されているもので、地域住民が自主的に管理・運営する施設であって、各種自主防犯活動の拠点として機能し得るものを「地域安全安心ステーション」と位置づけ、ここを中心として行われる防犯パトロール等の活動を積極的に支援する。（府警本部）	○平成21年度までに府下で15地区をモデル地区として指定し、管轄警察署を中心に、地域安全情報の提供、合同パトロールの実施、防犯講習会の開催等の支援を実施 ※モデル地区指定状況 平成17年度 3地区 平成18年度 3地区 平成19年度 2地区 平成20年度 4地区 平成21年度 3地区	938	

プランの項目			事業名	事業概要	実施状況 (21年度)	平成21年度 最終予算額 (千円)
大項目	中項目	小項目				
			交通安全教育・広報活動の推進(再掲)	春・秋の全国交通安全運動、夏・年末の交通事故多発時期に実施する交通事故防止運動などの機会を捉えて、定期的に府民に対して交通安全教育・広報活動を推進する。(府警本部)	*子どもや高齢者を重点とした交通安全教育を実施 *テレビ、ラジオ及び新聞等の広報媒体を活用した交通安全教育・広報活動を実施 *ポスターの掲示やリーフレット・チラシの配布 *その他、各種広報誌への交通安全に関する記事の掲載等	6,721
			交通安全教育事業	学校はもとより家庭における交通安全教育の充実を図るため、小学校一年生の保護者を対象に交通安全教育テキストを配布し、交通安全教育の徹底を図る。(教育委員会)		342
(5) 循環型社会づくりに向けた学習の推進	①環境に配慮したライフスタイルへの改善		水質保全対策事業	(財)琵琶湖・淀川水質保全機構において、水質浄化技術の研究開発、水質浄化事業の支援を行うとともに、交流・学習の機会の提供を行う。(政策企画部)	*交流・学習プログラム 参加者数：1,779人	0
			環境教育事業 (「こどもエコクラブ」サポーター等支援講習)	地域における子ども達の環境保全活動の充実を図るために、子ども達の指導的役割を担う「こどもエコクラブ」のサポーターや学校教員等を対象に環境活動に関する知識・技能の向上を図る講習会を開催する。(環境農林水産部)	*講習会実施 ・実施日：2月2、9、10日 ・参加者数：20名	300
			子ども向け環境教育講座の開催	「体験スクール」 環境月間を中心に、地域の小学校児童を対象に、各サイトの特色を活かした環境教室を実施する。 a「地球温暖化を考えよう」 環境科学C b「ヒラメの体験放流」 水産技術C c「淀川体験学習」 水生生物C d「どんぐり学習会」 食とみどり技術C  「夏休み子ども体験教室」 夏休み期間を中心に、小中学生・保護者を対象に、各サイトの施設やフィールドを活用した体験型イベントを開催する。 a「なぎさの楽校」 環境科学C b「海の教室」 水産技術C c「食とみどりの探検隊」 食とみどり技術C d「水辺の生きもの教室」 水生生物C (環境農林水産部)	*なぎさの楽校実施 ・実施日：7月31日 ・参加者数：65名 *夏休み海の教室 ・実施日：7月29、30日 ・参加者数：91名 *こども環境教室 ・環境教室 8回実施287名参加	—
			環境情報プラザ管理運営	環境情報プラザにおいて、環境関連図書・ビデオ・パネル・チラシ等の環境情報を提供するとともに、研修室・実験室等の施設を活動の場として提供し、府域における環境活動の拠点施設として管理運営する。 さらに、環境情報プラザのウェブページ「かけはし」においてNPO、自治体、企業、団体、学校等による環境活動情報の交流を図り、交流会等を開催するなど、パートナーシップ構築の拠点機能を一層強化する。(環境農林水産部)	*利用者：16,831人	1,935
			地球温暖化防止活動推進事業	主に家庭から排出される二酸化炭素の抑制を旨とし、より多くの府民が地球温暖化防止行動を実践するよう働きかけ、普及啓発を行う大阪府地球温暖化防止活動推進員の委嘱を行っている。(任期は2年。また、推進員に対する研修等は、大阪府地球温暖化防止活動推進センター「(財)大阪府みどり公社」が実施する)(環境農林水産部)	平成21年度末時点の委嘱者数 348名(任期は平成22年9月末まで) *主な取り組み内容(任期1年目) ・環境家計簿の普及 約180回 ・環境教育関連 約450回 ・リサイクル関連 約180回 ・自然環境関連 約250回 ・エネルギー関連 約230回 ・その他	147
			食とみどり技術センターにおける緑化研修会の開催	各市町村緑化関係担当職員、府内の学校をはじめ公共施設緑地管理担当職員、社会福祉施設職員及び緑化や福祉に係るボランティアを対象に緑化技術やビオトープ、園芸福祉などみどりに係る人材の育成を目的として実施する。(環境農林水産部)	*緑化研修会実施 ・回数：8回 ・参加者数：延べ779名	308
			浄水場見学案内事業	淀川の水から、安全でより良質な水(高度浄水処理水)が出来るまでの過程を、浄水施設の見学を通じて分かりやすく紹介する。暮らしに欠かすことのできない水道水や水道事業への理解を深めていただくとともに、水の大切さや水源保全についての啓発を行う。(水道部)	*見学者数：14,633人(通年実施)	3,844
			【追加】夏休み水づくり体験in村野浄水場	淀川の水が安全で安心な水道水になる過程を本物の施設で学ぶ施設見学や自分で濁っている水をきれいにする「水づくり」、水道水とミネラルウォーターの飲み比べなどを通じ、水道に対する理解と親しみを深めてもらう機会を提供する。	*実施日：8月2日(日) *実施場所：村野浄水場 *参加者数：575人	0
			バーチャル浄水場の公開	インターネットにより、水道部ホームページ内で浄水場見学がいつでも体験できる「バーチャル浄水場」を公開。実写映像に加え、コンピュータグラフィックスにより通常見ることができない浄水過程も紹介し高度浄水処理水ができるまでを分かりやすく解説するとともに、アニメ動画やクイズコーナーを設け、小学生の皆様へも水づくりや水の大切さ、地球の水問題等について楽しみながら学べる機会を提供する。(水道部)	*ホームページアクセス数：16,840件	—

プランの項目			事業名	事業概要	実施状況 (21年度)	平成21年度 最終予算額 (千円)
大項目	中項目	小項目				
			出かける浄水場&利き水会	大阪府内の小学校4年生を対象に、水道部職員が小学校に出かけ、水道水のできるまで水の大切さなどについて、実験を交えながら説明します。併せて、水道水とミネラルウォーターを飲み比べる「利き水」を実施し、水道水のおいしさを体感していただきます。※平成21年度は試行的に10校程度で実施予定。(水道部)	平成21年6月実施、10校	—
		②自然環境とのふれあいの推進	大阪湾ベイエリア開発推進機構による「なぎさ海道」ウォークの実施	(財)大阪湾ベイエリア開発推進機構において、自然環境の保全と持続可能な開発を基本に、人と海が豊かにふれあうことをめざして、「なぎさ海道」の推進を図り、ウォーキング等を実施する。(政策企画部)	*ウォーキング参加者数：約16,500人	0
			府立青少年野外活動施設の運営(再掲)	自然とふれあい、仲間との共同生活や様々なレクリエーション活動を通して、青少年の健全な育成に資するため、府立青少年野外活動施設の管理・運営を行う。【施設：府立総合青少年野外活動センター(能勢町)、府立青少年海洋センター(岬町)、府立羽衣青少年センター(高石市)】<平成18年度から指定管理者制度導入>(政策企画部)	*利用者数： ①65,933人 ②63,834人 ③171,838人	277,770
			里山の自然学校「紀泉わいわい村」管理運営事業	府民の森ほりご園地(泉南市)内で自然環境学習を実践する里山の自然学校「紀泉わいわい村」を管理運営する。<平成18年度から指定管理者制度導入>(環境農林水産部)	*利用者数：36,535人	27,900
			府民の森施設運営事業	府民の森8園地(ちはや星と自然のミュージアムを含む)を管理・運営するとともに、ネイチャーイベント等を実施し、利用の拡大を図る。また、専属のボランティアを育成し、利用者の情報提供やマナーの啓発を行う。<平成18年度から指定管理者制度導入>(環境農林水産部)	*利用者数：1,441,147人	205,207
			箕面ビジターセンター管理運営事業	箕面ビジターセンターを管理、運営する。(環境農林水産部)	*利用者数：110,000人	10,853
			木になる夢銀行推進事業	子どもたちが、ドングリ集めや苗木の植樹等を行うなど、自然とふれあうことを通じて、みどりを育てることの大切さを学ぶ仕組みづくりを進める。(環境農林水産部)	*新規通帳登録者数：1,108人	3,304
			大阪府民牧場の管理運営	「ふれあい」「体験」「憩い」「学び」をテーマに、牧場がもつみどり豊かな自然の中で動物とのふれあいを通して、畜産に対する理解の輪を広げ、子供たちの情操教育の場に資するため、「一日畜産体験」等のイベントを引き続き実施する。<平成18年度から指定管理者制度導入>(環境農林水産部)	*利用者数：162,274人	82,106
			府立花の文化園の管理運営	「花に憩い、花に学び、花で交流する」を基本方針に、花に関する様々な展示や体験講座、イベント等を実施する。<平成18年度から指定管理者制度導入>(環境農林水産部)	*利用者数：188,304人	156,549
			愛鳥モデル校制度	既存愛鳥モデル校の活動に対して、府からは鳥獣保護員等の人材派遣、活動に必要な物品の貸し出しなどの活動支援を行います。(環境農林水産部)	*指定校：17校 (中学校7校、小学校10校)	—
			オアシス構想推進事業	ため池を農業用施設として生かしつつ、都市生活に“やすらぎ”と“潤い”を与えるため、魅力ある地域を構成する貴重な環境資源として総合的に整備し、府民とともに地域環境づくりを推進する。また、ため池や農業用水路をフィールドに、子どもたちを対象とした水辺環境学習を進める。(環境農林水産部)	*オアシス整備 2地区 *地域総合オアシス整備 1地区	56,664
			食とみどり技術センターにおける府民教室の開催	府民を対象として、みどりや農業に親しむ機会を広げるとともに、食とみどりについての技術や情報を提供する(4回/年)。(環境農林水産部)	*府民教室開催 ・回数：9回 ・参加者数：延べ331名	150
			いきいき水路モデル事業	都市部の農業用水路の整備と併せ、清掃や植栽を府民とともにを行い、水と緑あふれる快適な水辺環境づくりを推進する。(環境農林水産部)	*いきいき水路モデル 3地区 *まちづくり整備 6地区	309,638
			ふれあい漁港漁村整備事業	都市住民が漁村と気軽に接することのできるふれあいとゆとりの場や交流の場を備えた多目的な機能を有する漁港を整備する。(環境農林水産部)	*整備港：深日、小島漁港	74,000
			大阪湾セミナーの開催	大阪湾についての知識を深め、より親しんでもらうために、水産技術センターの研究員達が日々の仕事を通じて得た大阪湾の環境や生き物に関する情報をわかりやすく紹介する(高校生以上、1回/年)。(環境農林水産部)	*参加者数：56名	—
			【追加】水生生物センター・弥生文化博物館共催セミナー	魚食文化の歴史や現在の魚の利用法や水田と魚との関わりなどについて府民に対してわかりやすく講演した。	公演会 2回：(2月7日、3月6日) 参加者計185人	0
			地域への愛着学習プラン(再掲)	出前講座、体験学習、見学会、発表会などを通じ、まちに対する愛着・愛情を育成する。(都市整備部)	*講座等開催：年間約100回 *講座参加者総数：約1万5千人	0
			府営公園の整備	府営公園の、府民のレクリエーション利用や防災上の避難地としての役割の他、景観の向上や環境の保全など、潤いや安らぎをもたらす「健康と生きがいを支える公園」「山に親しむ公園」「海に親しむ公園」「市街地に広大な森林をつくる公園」の整備を進める。(都市整備部)	*府営公園数：18公園	2,563,125

プランの項目			事業名	事業概要	実施状況 (21年度)	平成21年度 最終予算額 (千円)	
大項目	中項目	小項目					
			みんなで創ろう都市のみどり～中環の森づくり～(再掲)	みどりが乏しいとされる大阪の市街地で、子ども達とともにみどりづくりを行うことで、“子ども達の環境学習”を推進するとともに、“緑化のシンボル空間”を創造するため、市街地を貫く中央環状線において、沿道の子供達といっしょに苗木から育てる『中環の森づくり』を行う。新規整備は一時休止とするが、既整備区域における府民協働は今後も継続(都市整備部)	*事業箇所：花博記念公園口から神武町	—	
			府営公園におけるボランティアの育成(再掲)	府営公園が個性と魅力を有し、府民に親しまれ、府民の誇りとなるよう、園内清掃や施設保守、身障者・高齢者の公園利用のサポート等を行うボランティアの育成に努める。(都市整備部)	*府営公園ボランティア登録数：105団体 約5,000人	—	
			河川環境等の創出・保全・活用	人々が自然にふれあえる場を提供するため、階段護岸や高水敷、遊歩道、桜つつみの整備等、各河川の特色や地域のニーズに応じた河川環境の整備を進める。(都市整備部)	同左	1,312,913	
			大規模自転車道の整備	府民に歴史や自然とのふれあいをはじめ、スポーツやレクリエーションにも利用していただくため、大規模自転車道の整備を進める。(都市整備部) 事業計画：鶴見緑地～大阪中央環状線～淀川～穂谷川～第二京阪道路～鶴見緑地 延長L=45.5km幅員W=3.0m	*工事 第二京阪と併せL=16.2km供用開始	11,000	
			アドプト・プログラムの推進	地域に愛され、大切にされる美しい道路、川、海岸づくりを目指し、快適な道路や河川、海岸環境を創出するために、地元自治会や企業等の団体が、大阪府や市町村と協力して自主的に清掃や緑化などのボランティア活動を行う。(都市整備部)	*プログラム参加団体数：約500団体	—	
		③食の安全・安心のための学習の推進	食とみどり技術センター農業大学校における短期プロ農家養成講座	府内在住で農業に興味のある方に対して、農業の基礎知識や野菜の栽培方法の講習と実習を行う(入門コース)。また、本府で農業に従事見込の65歳までの方に対して、きゅうり、なす、軟弱野菜、みかん、ぶどう等の栽培等の講義・実習を行う(集中コース)。(環境農林水産部)	入門コース(39名受講)(2回) 集中コース(36名受講)(野菜40回、果樹20回)	1679	
		(6) 活力と魅力あふれる社会づくりに向けた学習の推進	①文化振興のための個性と創造性あふれる人材の育成	大阪文化再発見事業	大阪の文化振興を図るため、大阪文化を再発見する事業を展開する。(府民文化部)	*大阪文化再発見講座 ・10回実施 参加者数のべ584人	1,300
				大阪文化賞・大阪芸術賞、及び大阪文化祭賞	芸術文化活動の奨励や普及を図り、文化振興の機運を醸成するため、文化芸術に功績のあった個人等に対して「大阪文化賞」の表彰を実施する。(大阪府・大阪市)また、5・6月に大阪文化祭を開催し、参加公演の中から注目すべき成果をあげたものに「大阪文化祭賞」等を贈呈する。(大阪府・大阪市・(財)大阪21世紀協会)(府民文化部)	*大阪文化賞 1件 *大阪文化祭賞 ・大阪文化祭賞グランプリ 1件 ・大阪文化祭賞 1件 ・大阪文化祭賞奨励賞 7件	1,805
				大阪科学賞	大阪府、大阪市及び(財)大阪科学技術センターが、大阪における創造的科学技术の振興を図り、21世紀の新たな発展と人類社会の未来に貢献するため、科学や新技術の発展に寄与した者に対して「大阪科学賞」を贈呈するとともに、受賞者による記念講演を開催する。(商工労働部)	*大阪科学賞 ・受賞者：2名 ・記念講演参加者数：250名	1,200
			②職業能力開発の推進	大阪地域職業訓練センター(Aワーク創造館)における情報提供(再掲)	職業に関して困難な課題を抱える労働者等に対する職業能力の向上を図るため、大阪地域職業訓練センターを運営管理する有限責任事業組合 大阪職業教育協働機構において、広く府民を対象にパソコン、インターネット、マネジメント、語学など幅広い講座を実施しており、様々な情報媒体を活用して、それらの情報提供を行う。(商工労働部)	*講座数：219講座 *受講者総数：30,002人	0
高等職業技術専門学校再編整備事業(再掲)	平成14年12月に策定した「府立高等職業技術専門学校再編基本構想」に基づき、大阪南部地域、北部地域それぞれにおいて老朽化・狭隘化している2校を閉校し、1校を新設するもの。平成18年度当初の南大阪校開校によって南部地域の再編整備が完了し、平成19年度からは北部地域の再編整備に着手し、平成21年3月に北部校(仮称)の基本構想を策定した。平成21年度は基本計画を策定した。(商工労働部)			同左 (平成18年4月 南大阪高等職業技術専門学校開校)	26,900		
		離職者の支援及び就職困難者に対する委託訓練の実施(再掲)	離職者や働く意欲、希望を有しながら様々な阻害要因を抱え、雇用・就労を実現できないでいる方等の再就職を支援するための多様な職業訓練を専修学校、事業主団体及びその他の民間教育訓練機関等に委託することにより実施する。(商工労働部)	*委託訓練科目数：162コース *受講者数：3,536人	807,206		

プランの項目			事業名	事業概要	実施状況 (21年度)	平成21年度 最終予算額 (千円)
大項目	中項目	小項目				
			新規学卒者・離職者に対する公共職業訓練の実施(再掲)	府立高等職業技術専門学校において、普通課程及び短期課程の普通職業訓練を実施する。 (1) 訓練科目：機械・金属系、建築・設備系、土木系、環境系、電気・通信系、事務系、デザイン系、アパレル系、起業・販売系 (2) 訓練期間：6か月、1年、2年(商工労働部)	*普通課程受講生：365人 *短期課程受講生：893人	402,490
			障がい者に対する職業能力開発の実施(再掲)	大阪障害者職業能力開発校及び社会福祉法人への委託により、普通課程及び短期課程の普通職業訓練を実施する。 (1) 訓練科目 身体障がい者：CAD製図科、OAビジネス科、製版アート科 他 知的障がい者：ワークサービス科、実務作業科、園芸科 他 (2) 訓練期間 1年、2年又は6ヶ月 障がい者短期訓練(障がい者の態様に応じた多様な委託訓練) 障がい者の雇用促進に資するために企業、社会福祉法人、NPO、民間教育訓練機関等地域の多彩な委託先を活用し障がい者の能力、適正及び地域の障がい者雇用ニーズに対応した委託訓練を実施する。 (1) 訓練科目 パソコン実践科、インターシップコース 他 (2) 訓練期間 1～3ヶ月(商工労働部)	*普通課程受講生：181人 *短期課程受講生：130人 *障がい者短期委託訓練：639人	549663 委：123,673
			テクノ講座の実施(再掲)	府立高等職業技術専門学校及び大阪障害者職業能力開発校において、主に在職者を対象とした短期課程の普通職業訓練を実施する。 (1) 講座内容 機械、溶接、電気・電子、建築・土木・建設、情報処理、管理、OA・事務、デザイン (2) 訓練時間 12時間～57時間(商工労働部)	*受講者数：1,474人	24,455
			認定職業訓練の実施促進(再掲)	職業訓練が体系的に行われることにより、職業の安定と労働者の地位向上を図ることを目的に、事業主等がその雇用する従業員に対して行う職業訓練で、法に定める一定の基準に適合する場合、知事が認定し、その実施を促進する。(商工労働部)	*認定訓練施設数：39施設 (補助対象施設)	70,000
			おおさか技能フェアの実施(再掲)	職業能力開発と技能検定等の普及を通じ、技能者の養成・確保と能力の開発向上を図るため、技能尊重気運の醸成や技能者の地位向上について広く啓発することを目的に、職業能力開発促進月間の11月、大阪府職業能力開発協会、大阪府技能士会連合会と共催で、「おおさか技能フェア」を開催する。(商工労働部)	*開催日：11月20日・21日 *入場者数：5,000人	1,546
			若年者向け訓練の実施(大阪府デュアルシステム訓練事業)(再掲)	高校、大学等を卒業後、本格的雇用に至らない者(フリーター、無業者等)に対し、民間教育訓練期間等での訓練と企業での実習を組み合わせた職業訓練を提供し、若年者の早期安定就労を支援する。(商工労働部)	*委託訓練活用型 ・訓練科目数：10コース ・入校者数：188人	40,367
(7) 交流とふれあいの社会づくりに向けた学習の推進	①国際交流と異文化理解、平和学習の推進		大阪国際平和センター(ピースおおさか)の運営(再掲)	府民の平和意識の醸成を図るため、戦争や平和に関する資料の収集・保存・展示や講演会等の開催を行うピースおおさか(財団法人大阪国際平和センター)に対し補助を行う。(府民文化部)	*入館者数：64,784人	36,521
			山片蟠桃賞	近世大阪の生んだ世界的町人学者「山片蟠桃」の名にちなみ、日本文化の国際通用性を高めた優秀な著作と著者を顕彰し、あわせて大阪の国際都市としての役割と文化・学術の国際性を高めることを目的に実施する。(府民文化部)	(3年に一度の実施:次回22年度)	719
			訪日青年交流事業	府内の青少年が、訪日外国青年との共同作業や意見交換会などの体験型交流プログラムを通じて、国際理解と社会参加活動の意識高揚を図る。(政策企画部)	*外国青年との意見交換等 *ホストファミリー：24家族	—
			内閣府海外派遣事業への協力事業	内閣府が実施している海外派遣事業に対し、団員候補者を選考し推薦する。(政策企画部)	*候補者推薦 ・航空機による青年海外派遣 ・世界青年の船 ・東南アジア青年の船	—
			語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)	○総務省・文部科学省・外務省と地方自治体が協力して実施する「語学指導等を行う外国青年招致事業」(JETプログラム)によって外国青年を招致し、各種国際交流活動に従事。 ○本府では、国際交流員(CIR)として、外国青年を招致し、本府国際化関連施策に参画。(府民文化部)	*国際交流員1名配置(国際交流課)	6,831

プランの項目			事業名	事業概要	実施状況 (21年度)	平成21年度 最終予算額 (千円)
大項目	中項目	小項目				
			学校における平和教育の充実	・学校教育において、児童生徒に生涯を通じて、人の命を大切に する態度や国際社会に貢献できる資質と態度を育成すると ともに、地球環境を守ろうとする行動力を育成する。 ・平和を守ろうとする態度や平和の構築につながる文化の推進 を図ろうとする態度を育成する。 (教育委員会)	同左	—
			海外から招致した 外国青年による語 学指導の充実	外国語によるコミュニケーション能力の育成と異文化理解を目的とし、国のJETプログラムを活用し、語学指導を行う外国青年（ALT）を招致し、府立学校に配置する。（教育委員会）	* 外国青年外国語指導助手数：74人	369,113
			在阪等の外国人による語学指導の充実	外国語によるコミュニケーション能力の育成と異文化理解を目的とし、国のJETプログラムを補完する事業として大阪府内及び近隣府県に在住する英語を母国語とする外国人を英語指導員（NET）として府立学校に配置する。（教育委員会）	* 英語指導員数：33人	143,520
			外国人英語講師による語学指導の充実	英語によるコミュニケーション能力の育成と国際理解教育を推進するため、語学学校等に勤務する外国人を英語講師（T-NET）として府立高校に派遣する。（教育委員会）	* 外国人英語講師数：55人	80,850
		②地域社会における教育コミュニティの形成	公立小学校等の芝生化推進	地域の多様な団体や学校が一体となって行う芝生化を推進し、芝生化をきっかけに住民が協力して学校を支える地域づくりを推進する。（環境農林水産部）	* 実施校数：59校	297,286
			おおさか元気広場推進事業	学校教育・社会教育・福祉関係者の連携、協働のもと、地域住民の参画・協力を得て、地域社会が一体となって子どもの豊かな成長を育む活動を推進するため、放課後や週末等に、学校施設等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点を設け、スポーツや文化活動等の体験活動や学習活動などを通じて、子どもどうし、子どもと大人の交流を図る。（教育委員会）	* 補助市町村、箇所数：38市町村、438箇所	128,648
			大阪府教育センターにおける教員研修の推進	教職員の資質向上を図るため、教育センターにおいて研修を実施する。（教育委員会）	総合研修、課題別研修、授業力向上研修を計141研修実施。延べ受講者数は、51,529名（長期研修含）	21,352
			女性教育の振興	地域社会の教育力の向上に寄与するよう、女性教育指導者の資質向上を図る。（教育委員会）	* 講演講師の派遣等	—
			成人教育の振興	地域社会の教育力の向上に寄与するよう、PTA指導者等の資質向上を図る。（教育委員会）	* 地区別PTA指導者セミナー 延べ受講者数287人	—
			学校支援地域本部事業	地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の構築を図り、多様な形態の教員支援を可能とし、子どもと向き合う時間の拡充を図ることを目的とする。 中学校区単位に地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する。	* 実施箇所数：261中学校区	320,511
			地域による学校支援緊急対策事業	学校と地域の連携体制を定着・発展させるため、学校支援地域本部の活動拠点となる地域住民の居場所づくりを行うとともに、子どもの生活リズムの向上などをねらいとする。地域による継続的な学校支援の取組みを促進する。（教育委員会）	* メニューA ①事務局拠点整備：136中学校区 ②交流拠点整備：83中学校区 * メニューB 子どもの生活リズムの向上などを狙いとする取組み：169中学校区	73,725